

図書館だより

千葉県立柏高等学校 図書委員会
2018.11.29 発行 NO.282
担当 藤田

皆さん毎日の勉強お疲れ様です。勉強で机に張り付き毎日似たような日々を過ごされていたと思います。たまには本を読んで違いう世界に行ってみたり、自分が今まで知らなかった知識に出会ってみたりするのはどうでしょうか？

秋になって以前よりも肌寒くなって来ましたね。この時期は風やインフルエンザが流行ってくるので予防をしっかりしましょう！僕が仕事を先延ばしにしていたせいで期末テスト2週間前を切ってしまいました。最初の一文を書いたときはまだ中間テストが終わって間もない頃でした。みなさんもテストの課題などを先延ばしにしないように気をつけてくださいね（笑）

【先生のオススメ本紹介】

今回本を紹介して下さったのは、数学科の森先生です。部活や授業の準備でお忙しい中、図書委員の依頼を快く引き受けてくださいました。みなさんもぜひ読んでみてください。またこれを参考にしてみてくださいませんか？

森 光彬先生（数学科 2年3・4組副担任 陸上部顧問）

学生時代、村上春樹の本が好きでよく読んでいました。村上春樹の小説は、奇抜な世界観だったり、メタファーを用いた内容構成や独特な言い回しなど、非常に特徴的です。その中でも特に『海辺のカフカ』は村上春樹ワールドが色濃く出ている作品だと思います。15歳の主人公が家族に関する問題を抱えながら、メタフォリカルに試練を乗り越えて成長していく話なのですが、ストーリーの名所に散りばめられている仕掛けが凝っていて、読み返すたびに新しい発見ができる素晴らしい本だと思います。主人公と年齢が近いみなさんに是非読んでほしいなと思います。

読書感想画コンクールに参加しませんか？

あなたの読んだ本の感想を絵で表現してみない？

前回のコンクールでは我孫子高校の生徒さんが入賞したそうです。

柏高校も負けてはいられません。入賞目指してがんばってみませんか？
挑戦者をお待ちしております。



☆1 指定読書(高等学校の部)課題図書

『100年の木の下で』 杉本りえ・作 佐竹美保・画

『ヒトラーと暮らした少年』 ジョン＝ポイン・著 原田勝・訳

『キツネのパックス：愛をさがして』 サラ＝ベニーパッカー・作

ジョン＝クラッセン・絵 佐藤見果夢・訳 評論社

『極北へ』 石川直樹・著毎日新聞出版

『正義の声は消えない』：反ナチス・白バラ抵抗運動の学生たち

ラッセル＝フリードマン・著 渋谷弘子・訳

☆2 用紙・画材

用紙は、画用紙・ケント紙・キャンパスボード・マニラ紙・ボール紙

いずれでもよい（ワク貼りキャンパスや木製パネル等厚みのある作品は不可）。

絵具は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵可。

☆3 寸法

36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさとする。

☆4 作品提出

・指定読書、自由読書があり、それぞれ1点ずつ応募できます。

・作品の裏側に応募表と、作画感想用紙を貼付して下さい。

・締切日は1月15日です。

ピズリオバトルに参加！！

11月4日に柏市内中学・高校生ピズリオバトル（知的書評合戦）がアミューゼ柏・クリスタルホールで開催されました。

当日は午前中学生の部、午後高校生の部と2部に分かれて実施され、それぞれ参加者がよすぐった一番のおすすめ本を紹介しました。

中学生の部では参加16校の中で千葉県立東葛飾中学校の方が紹介した『鴨川ホルモー』森美登美彦著がチャンプ本になりました。

この本は学校にありますよ。

また、高校の部では参加8校の中、千葉県立柏中央高等学校の方が紹介した『星空放送局』中村航著がチャンプ本になりました。

県柏からの参加者が紹介した本は、『魍魎の函』京極夏彦著です。

この本は消える少女、バラバラな死体どれも「函」という共通のキーワードが謎を解く鍵になっているミステリです。とっても分厚いので読むとずる人は敬遠してしまいかもしれませんが、読み進むうちにそんな厚さは気にならなくなります。

ぜひ挑戦してみてください。

また、私も紹介したい本があるという方、授業で

やってみたら面白いと思ってくれた方、ぜひ

次回挑戦してみてください！

図書館の本が借りたいまま返却してない方、大至急返却してください！
図書館では読みたい本のリクエストをいつも募集しています。気軽にどうぞ！

読書の秋 ということでした。



『永遠についての証明』

岩井 圭也著

特別推薦生として協和大学の数学科にやって来た瞭司と熊沢と佐那。瞭司のすごい才能に惹きつけられ3人は共同研究で画期的な成果をあげる。しかし瞭司の過剰な才能はやがて3人の関係性を修復不可能にしてしまう。「僕らは数学という燃え上がる船に乗り合わせている。船が終着点にたどりつくためなら、喜んで灰になるつもりだった。」と研究ノートに残した未解決問題「コラッツ予想」の証明。死んでいた瞭司と熊沢らの関係は修復できるのか？

『戦国武将の解剖図鑑』

本郷 和人著

「山梨県出身者は武田信玄のことを呼び捨てにしない」（はじめにより）って言われてますが、今も各地のお殿様の人気は衰えず、県民に愛されていますよね。人はなぜに戦国時代に心惹かれるのでしょうか？その魅力的な彼らの列伝を通して、戦国時代はどんな時代なのかを紹介。戦時の兜・鎧・武器から平時の服装、茶器などの持ち物、築いた城、人生を賭けた合戦まで喜らしや戦いの中での様子を完全図解で紹介してあります。

『心理学見るだけノート』

斎藤 勇著

人間っていつだって何をしても実は他人の事が気になるもんです。恋愛でも学校でも常によく思われたいって思うはず！それが普通でもなかなかうまくいきません。どうすればよいのかって、もし相手のことが考えていることが先回りして読めるなら、それがいいって！そんな時この本はあなたの強い味方になってくれるはず。3つの項目から具体的な事例をあげて紹介しているので読書が苦手でもOK！

『日本人の9割がやっている残念な習慣』

ホームライヴ取材班著

「節電でエアコンを弱風にする」「缶詰を買ってすぐ食べる」「入浴剤入りの湯で髪を洗う」「目薬のあと、目をパチパチする」などなど挙げたらきりがありません。普段私たちが普通にやっていることがなんで残念！？毎日がNGだらけなんて信じられない！私たちの暮らしを日々の取材でもっと楽しく有意義にを目標にしている集団が読んだ人から得をする本をみなさんにご紹介します。

『ダンデライオン』

中田 永一著

野球の試合中に気を失った11歳の下野蓮司が目覚ますとそこは20年後の世界。大人になっていた僕はどうかやら子供時代と大人時代の1日が交換しちゃったみたい。31歳の僕は過去に送り込まれた目的があったようだ。いったい何の為に？目を覚ました僕のポケットから意味不明な走り書きのメモが、そしてメモ通りの事が起こる……。入れ替わりのタイムリミットは7時間。読書メーター読みたい本ランキング第1位の綿密に組み立てられた青春ミステリ。

『本を守ろうとする猫の話』

夏川 草介著

高校生の夏木太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店『夏木書店』をたまたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に人間の言葉を話すトラネコが現れる。数日後に祖父との思い出がたくさん詰まったこの書店から去らなければならぬ僕に現れた猫はほくに問いかける。「お金の話はやめて、今日読んだ本の話しよう」と。「本には力がある」と言っていた祖父の心が知りたかった僕に猫は、「君自身が旅を続けなさい。メロスが最後まで走り続けたように」と。

『図書委員「ルーで紹介！』

図書委員がおすすめの本です。読んで見てくださいね。♪

私は、星野源さんの『そして生活はつづく』と言う本をおススメします。星野源さん、といえば人気の歌手ですが、この本は星野源さんが書いたエッセイです。真面目な話かと思いきや、むしろとてもくだらない話ばかりで、どの話も読みながら笑ってしまうほどの面白さ！電車では読めません。ひとつひとつのストーリーが短く、読みやすい本なので、普段あまり本を読まない方にもぜひ読んで欲しいです。元氣がもたえて、テレビで見る星野源さんに親しみを感ずること間違いなしです。

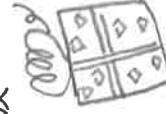
図書委員 川上



私は、羨かなえさんの『リバーズ』という本をおススメします。彼女宛に届いた告発文「深瀬和久は人殺した」。深瀬は彼女に3年前の夏にゼミ仲間5人で行った旅行の事を告白する。深瀬を含め4人は広沢が飲酒をしている事を知りながら彼一人に車で村井を迎えにいかせた。広沢は道中で事故に遭い車は炎上して帰らぬ人となり、4人は飲酒運転していたことを隠し続けた。

一方、秘密を共有しているゼミ仲間にも「OOは人殺した」という告発文が届く。誰かがあの件を蒸返そうとしているのか。真相を探るべく深瀬は動き出すことを決意する。事故の隠された真相、そして脅迫犯の正体は？2016年のドラマ『リバーズ』の原作本です。

図書委員 吉中



お知らせ

期末審査が終わると楽しみは冬休みですね。そしてクリスマスも待っています。図書館では日頃たくさん本を読んでいただいている貸出の多い利用者にクリスマスプレゼントを用意しています。審査が終了したらぜひ借りに来てください。（集計は11月・12月の合計です）

図書委員 長崎